

## ま え が き

時がめぐって来て、第19回プログラミングシンポジウムが開かれることになった。よくも欠けずに続いたものとの感が深い。参加者も代替わりして、おなじみの古顔が少なくなって来ていることに気づく。しかし泊りがけのシンポジウムの好きは、自由時間でも同好の仲間で、話し合うことであろう。年々歳々話題も変わるであろう。

1977年という年には、マイクロコンピュータが新聞雑誌にまでにぎやかに報ぜられたが、このシンポジウムでも、夏にマイコンのシンポジウムを開いたし、今回のシンポジウムの時にも、その時の実物が持ちこまれて話し合われるようで、一層の進展が期待される。いろいろの意義深い利用に発展して行くであろう。

いつものことながら、ほとんど1年間に絶えない話し合い、手当てを経て、シンポジウムの準備をして、開催に到達された幹事長をはじめとする幹事団の方々、また手伝って下さった事務局の方々に厚く御礼を申し上げたい。

毎度のことながら、このシンポジウムのために、援助して下さった諸社には末尾ながら厚く感謝したい。

プログラミング・シンポジウム委員会

委員長 山内二郎

本 PDF ファイルは 1978 年発行の「第 19 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトに、下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載し、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

[https://www.ipsj.or.jp/topics/Past\\_reports.html](https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html)

#### 過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場（＝情報処理学会電子図書館）で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 ([tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp](mailto:tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp)) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>